

障害者指導支援補助・「ほっとはあと製品」づくり補助事業【京都府福知山市】

事例紹介

緊急雇用創出事業 【福祉分野】

障害のある人が心をこめて作っている「ほっとはあと製品」づくりを支援し、より良い製品づくりや販路の拡大に努めています。

また、障害者指導支援員は、主に児童に対してよりきめ細やかな支援を行い、持てる力を伸ばす手助けをしています。

事業概要

障害のある人や児童に対し就労支援や一時預かりなどのサービスを提供する障害福祉サービス事業所等において、事業活動の補助員を雇用し、障害のある人への支援を充実させるもの。

委託先

(福)ふくちやま福祉会
ふきのとう作業所
NPO法人
オークラ福祉応援団
NPO法人 ポップコーン
NPO法人
बीジーエム福祉サービス
NPO法人
人権の会しあわせネットワーク

新たな 雇用創出数

5人

事業の開始

平成21年9月～

事業費

約4,071万円
(平成21年度)

京都府



地域雇用失業情勢
(事業開始前(8月)の有効求人倍率)

京都府 0.48倍(季節調整値)
福知山管内 0.45倍

業務内容

「ほっとはあと製品」(京都府における授産製品の呼称)
づくりの補助

障害のある児童の活動支援



福知山市内で
作られている
「ほっとはあと
製品」の一例

補助員の声

障害のある人の力になれるよう、がんばっています！

◎「ほっとはあと製品」づくり(ふきのとう作業所)



利用者の皆さんと作業をする折田さん

始めは何を話したらよいかわからず戸惑いましたが、みんな特別な存在ではなくごく普通の人たちだと再認識をしました。毎日楽しく仕事をさせてもらっています。

委託先からの声

障害のある人は一人ひとりの状況によってたくさんの支援の仕方があります。その中で、今回の取り組みは手厚い支援をするうえで助かります。雇用期間が限られていますが、これをきっかけにボランティアや地域の中で積極的に障害のある人と関わってもらえたらと思います。

障害と障害のある人の理解を深めるためにも意義ある事業であり、福祉制度として継続した取り組みになるといいのですが……。

◎障害者指導支援(बीジーエム福祉サービス)



利用者と一緒に遊ぶ塩見さん

以前、重度の障害がある人のキャンプでボランティアをしたことがあり、福祉に関心がありました。子ども達がみんな純粋で教えてもらうことが多いです。福祉の充実がさらに図られるよう期待しています。

事例紹介：緊急雇用創出事業（介護・福祉分野）

事業名	緊急地域雇用創出点字ブロック機能維持事業 （事業の期間：平成21年10月～3月）
事業の概要	駐輪などにより点字ブロックの機能が阻害されている例の多い市街地で、点字ブロック上の障害物を取り除きバリアフリー設備の機能の維持を確保し、また、その所有者や管理者その周辺の市民に対して啓発などを実施。
事業費	約370万円（平成21年度）

地域雇用失業情勢
（H21年8月末の有効求人倍率）

高知県高知市

高知県 0.40倍（季節調整値）
H0-ワーク
高知管内 0.44倍（原数値）



【委託事業所】
障害福祉サービス事業所サポートぴあ
（就労移行支援、就労継続支援B型）
従業員数 4名

雇用

12名（うち新規10名）
【予定】

障害者を含む

業務内容

障害者自身による啓発活動等の効果を期待！

腕章作成

啓発パンフレット作成

点字ブロック機能維持

巡回・実態把握

障害物の整理

障害者の雇用拡大
& 工賃アップ！

作業中に着用する腕章等の作成もこの事業で行います。



作業員が歩道を巡回。破損箇所などを調査中。



繁華街では点字ブロックの上に自転車が・・・こうした障害物の整理も行います。



この事業を通して私たちも障害者の目線で点字ブロックを見つめるようになりました。できるだけ多くの障害者に関わってもらおうよう、これからもがんばります。

おっと陥没箇所発見！道路管理者に繋がります。



目の不自由な方々の役に立つ仕事ができ、大変うれしく思います。

【その他の作業員の声】

やりがいのある仕事で、日々充実しています。
雇用がもっと増えると、障害者の自立支援につながると思います。



サポートぴあ職業指導員
大野 花さん



作業員 別役さん